

学校名 川口市立前川小学校
所在地 川口市本前川2-11-1
電話 048-265-3375

1 本校の概要

本校では、「思いやりの心もち 進んで学ぶ子 元気な子の育成」を教育目標とし、自分の頭で考え、生き生きと学び合う児童の育成を目指している。昨年度開始した学校図書館の電子化に本格的に取り組んでいる。学校図書館には週3日、図書館司書が勤務している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 学校図書館の環境整備及び利用の向上
- ・ 図書委員会活動の工夫

(2) 実践の概要

ア 学校図書館の環境整備

- ① 学校図書館の蔵書の正確な把握、貸出数の把握のために、電子化の導入を行った。本格導入のため、本年度は本の貸出を中止し、早期の運営開始を目指している。
- ② 年度初めに、先生方に図書館へ入れて欲しい図書のリクエストを募った。授業を通して、必要としている図書を把握し、導入した。
- ③ 学年や単元の必要に応じて、資料の取りまとめを行った。また、市立図書館団体貸出を活用し、必要な資料の充実を図った。
- ④ 使いやすい図書館経営に向けて、図書整理ボランティアに蔵書整理を行っていただいた。また、読み聞かせで使用した本を、手に取りやすいように掲示した。

イ 図書委員会活動の工夫

- ① 新着図書の紹介コーナーを作り、どの本が新しいものかわかるよう



にして児童の関心を引くように掲示した。図書委員の児童が、紹介文のポップを作り、読みたくなるような工夫をした。

- ② 児童集会で、正しい学校図書館の利用の仕方や、新着図書コーナーがどこにあるか紹介をした。児童が学校図書館で過ごしてみたいと思える工夫を行った。



- ③ 読みたい図書をリクエストできるコーナーを作った。また、そのコーナーがどこにあり、どのように利用すればよいか紹介することで、活用したいと思えるようにした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 図書委員の活動紹介などで、楽しみながら学校図書館を利用する児童が増えた。
- ・ 市立図書館団体貸出を利用することにより、より多くの児童が、自分の探したい情報を図書から得ることができた。また、必要とされている図書を導入したことにより、蔵書の質が向上した。

(2) 課題

- ・ 本年度行った学校図書館システムの電子化を実用化し、さらに図書利用を向上させていく。
- ・ 教師による読み聞かせ活動を取り入れるなどさらなる充実を図り、児童が本に親しめる環境づくりを行っていく。

(3) おわりに

今年度の取組を発展させ、学校図書館経営を工夫しながら、児童が本に触れる環境づくりを引き続き行っていきたい。